

天草圏域ワーキンググループでの協議結果

日時：令和元年11月20日（月） 19：00～21：00

場所：熊本県天草保健所

出席者：東院長（東整形外科） 中村院長（中村医院） 木山院長（木山・中村クリニック） 大曲院長（福本病院） 永野理事長（天草慈恵病院）

欠席者：永芳院長（永芳医院）

天草保健所：服部所長、松田次長、兵藤主任技師、永野主事

天草圏域の外来医療機能について

1 夜間・休日の初期救急について

(1) 現状

項目	データ														
1か月の患者数	2,029人（平成29年度：時間外等外来患者延数回/月）														
在宅当番医（医療機関数）	65医療機関（令和元年10月現在）														
	上天草市				天草市									苓北町	
	大矢野町	松島町	姫戸町	龍ヶ岳町	本渡地	牛深地	有明町	御所浦町	倉岳町	栖本町	新和町	五和町	天草町	河浦町	
当番医	9	2	3	1	24	9	3	0	1	1	0	5	0	3	4
（参考）救急告示等医療機関				1	3					1	1			1	2

(2) 目指すべき方向性

当医療圏では、在宅当番医制(天草都市医師会)に医療機関65か所が参加し、各市町それぞれにおいて、輪番制で休日の初期救急の対応を行っている。

診療科によっては、参加する医療機関数の減少により、日曜日のみ実施する体制をとっている場合や、在宅当番医制を行っていない診療科もある。小児科については、各市町単位での実施が困難になり、広域化して対応している状況である。

診療所医師の高齢化が進み、病棟を休止する診療所や無床診療所が増えており、現在、時間外の対応については、かかりつけ医や救急告示等機関が担っている。

今後、新規開業を行う医師（医療機関）には初期救急について協力を要請し、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

また、現状としても対応に苦慮している診療科があることから、小児科が実施している広域化したシステムの導入や、休日診療センター¹⁾等の対応方法も検討し、初期救急体制を維持していく。

加えて、初期救急として本来対応が必要な患者だけでなく、仕事が休みだから等の理由で休日に受診する患者もみられるため、地域住民への受診に関する普及啓発も行う必要がある。

1) 一つの医療機関に地域の医師が当番で出向くシステム

2 公衆衛生分野について

(1) 現状

項目	データ				
学校医(幼・小・中・高・支援学校)	64人(64校)(令和元年10月現在)				
	市町	学校数(幼・小・中)	学校数(高・支援学校)	学校医(実人員)	
	上天草市	17校	1校	14人	
	天草市	33校	6校	44人	
	苓北町	5校	2校	6人 (天草市重複2人除く)	
計	55校	9校	64人		
予防接種を実施する医療機関(市町村委託)	77医療機関(令和元年11月現在:各市町ホームページ参照) (実施率81.1% 病院・診療所(施設内診療所除く)に占める割合)				
産業医	61人(令和元年度)				
		産業医数	設置が義務付けられた事業所数	対象事業所の従業者数	産業医一人当たり従業者数
	天草	61人	77カ所	8,023人	131.5
熊本県	962人	1,806カ所	234,859人	244.1	

(2) 目指すべき方向性

学校医について、当圏域では、比較的小規模校については、内科系医師1人で対応し、規模の大きい学校では、内科、耳鼻科、眼科の3科体制で対応している。現在、学校数64校(幼・小・中・高・支援)に対して、64人の医師が対応している。耳鼻科医、眼科医については、複数校を担当している。

予防接種については、病院・診療所(施設内診療所除く)の約8割で実施されており、接種体制が整っている。

産業医については、産業医一人あたりの平均負担状況は県平均と比べて低い状況である。

現状としては、公衆衛生分野(学校医・予防接種・産業医)について、地域の医師の協力が得られているが、診療所医師が高齢化している現状から、協力体制を維持するために、今後より一層の医療機関間の連携の必要がある。

そのため、公衆衛生分野に関する取組状況や連携体制について、情報共有を図り、新規開業を行う医師には公衆衛生分野への協力を要請し、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

3 在宅医療について

(1) 現状

項目	データ															
在宅療養支援病院	3カ所（令和元年10月現在） （上天草市1カ所、天草市1カ所、苓北町1カ所）															
在宅療養支援診療所	18カ所（令和元年10月現在） （上天草市4カ所、天草市14カ所）															
訪問診療・往診を実施する医療機関	66カ所（天草圏域 医療・介護・福祉サービスガイドマップ（令和元年度発行）より）															
		上天草市				天草市									苓北町	
		大矢野町	松島町	姫戸町	龍ヶ岳町	本渡地域	牛深地域	有明町	御所浦町	倉岳町	栖本町	新和町	五和町	天草町	河浦町	
	実施医療機関	9	2	3	1	21	9	2	1	2	3	1	5	0	4	3
	（参考）在宅療養支援病院				1		1									1
（参考）在宅療養支援診療所	3		1		7	3				1				3		
在宅医療サポートセンター	2カ所（令和元年11月現在） （上天草市1カ所、天草市1カ所）															

(2) 目指すべき方向性

現状では、在宅医療について66カ所の医療機関が訪問診療・往診の対応が可能な体制であるが、実際に実施している医療機関との齟齬が見られるとの意見もある。

また、在宅医療を進める上では、関係者や地域住民から急変時等の受け入れ体制の整備が求められている。

高齢化の進展に伴い在宅医療のニーズが今後も一層高まることが予想されるため、県の指定する在宅医療サポートセンターとも連携しながら、急変時受入体制も含めた在宅医療体制づくりが求められる。

診療所医師が高齢化している現状も踏まえ、今後、新規で開業する医師には在宅医療の必要性について情報提供し、協力依頼を行う。また、既に開業している医師にも引き続き情報共有を行い、協力要請を行う。

加えて、地域住民が在宅医療について詳しく知らないという現状もあるため、在宅医療に関する地域住民への普及啓発も必要である。

4 医療機器の状況

(1) 主な医療機器の配置状況

機器名	保有台数	機器名	保有台数
C T	2 6 台	マンモグラフィ	8 台
M R I	1 0 台	リニアック	1 台
P E T	0 台	ガンマナイフ	0 台

H30 年度病床機能報告及びくまもと医療ナビ (H 3 0 年度報告 : H 2 9 年度実績) 参照

(2) 目指すべき方向性

現状においても、天草地域医療センター(地域医療支援病院) 上天草総合病院、天草第一病院等で医療機器の共同利用を図っている。また、医療機器のある医療機関への患者の紹介等を行う等、通常の診療の中で連携が図られている。さらに、天草地域医療センターを拠点としたあまくさメディカルネットワークも浸透し、活用されている。

引き続き、地域における共同利用を進めるとともに、(1) にあるような高額な医療機器については、購入、更新等の場合には、地域医療構想調整会議で協議を行うこととする。

また、地域完結型医療を維持するために、現在地域に 1 台しかないリニアックの維持費について優遇措置の検討も求められる。